

鹿児島でも一斉検診

隠れ水俣病の発掘へ

【鹿児島】鹿児島県は二日、不知火海沿岸地区住民の有機水銀汚染健康調査計画の打ち合わせ会を開き、隠れ水俣病の発見の手備めた。

計画によると、調査対象地区は

不知火海に面した出水市、阿久根

市、旧本郷地区、出水郡高尾野

町、東町、長島町。対象人数は山間部の魚介類をあまり食べていない世帯を除く、全人口の六一・五割、一万三千七百六十五世帯、四万五千六百三十二人。の中には新生児や幼児なども含まれている。

調査は鹿児島、熊本両大学医学部、鹿児島県医師会などの協力で、伊藤、獅子島など漁業関係者の多い重点地区に対しては、保健婦十六人が直接聞き取り、その他は市町村を通じて調査票を配布、記入させる。今月末までに全回収を目標にしている。

同県の認定患者は二日現在七人（一人死亡）で、このほか保健一、申請者七人がある。